

大きな目標に向かって…やったあ！

29期 竹本治男（大鶴）

10月18日（月）待ちに待った発表日です。分厚い速達郵便…万歳！うれしい嬉しい「第8回日展（入選）」通知。

青春時代から「好きなこと・自分にできること・人に喜んでもらえること」をモットーに書道に心を燃やしてやってきました。北野定時制時代から日本の総合美術展として権威のある「日本美術展覧会（日展）」に入選したいと頑張ってやってきましたが、落選、落選…の数十年…あきらめずこつこつ筆を持ち続けて精進してきました。学友・先輩や恩師、書道の師匠・仲間・お弟子さん達…いろいろな出会いの人たちにお世話になり励ましていただき、うれしいご報告ができたことを大変うれしく思っています。



思えば2011年（平成23年）第43回日展（書）64歳で初入選してから2018年（平成30年）改組新第5回日展（書）71歳まで8年連続入選させていただきましたが作品表現のはばを広げたいと「縦書き作品から横書き作品にチャレンジ」しました。昨年、一昨年と落選…今年こそはと初心にかえって作品締め切り前日まで書き続けました。「積み重ね、積み重ねても、また積み重ね」と思いつつ…

コロナ禍の中、昨年同様今回も開会式のテープカットや入選祝賀懇親会などのイベントは中止になりましたが、10月28日（木）六本木の国立新美術館で「日展」を鑑賞してきました。感動と感激を心に秘め、次への創作活動に精進したいと思っています。

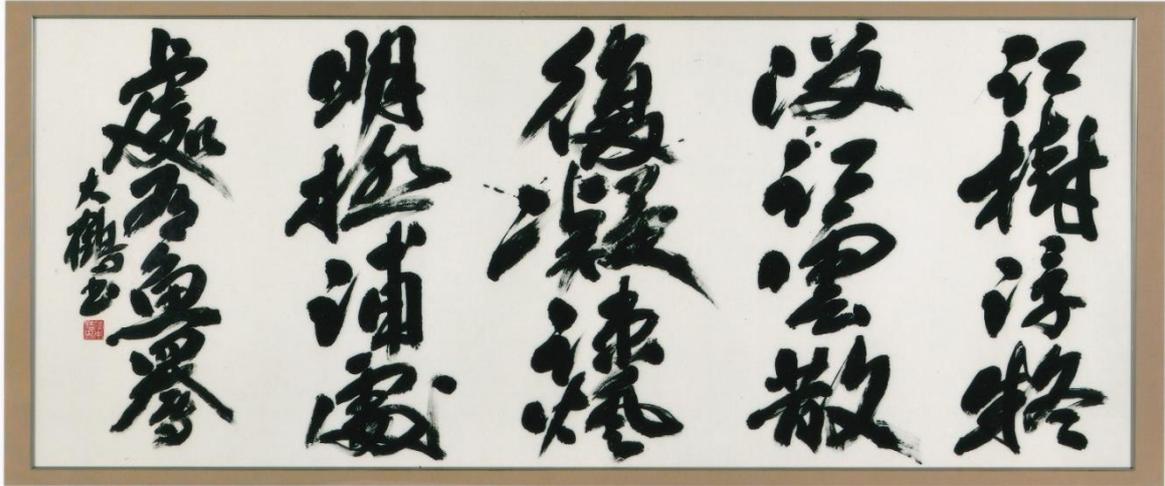
今回の私の作品は宋の時代の「米ふつ^{べい}」の書風を基調に余白美と強い線條をモットーに170cm×70cmの画仙紙に20字の漢詩を横型式に展開しました。いかに生命力を注ぎ込めるか挑戦してみたく作成しました。

来年は後期高齢者（75歳）になりますが北野高校定時制時代に心に誓った大きな目標に向かってチャレンジし続けたいと思っています。

今回の「日展」は六本木の国立新美術館をスタートに京都・名古屋・大阪・安曇野・金沢と巡回します。大阪展は 来年2月26日（土）～3月21日（月）天王寺の大阪市立美術館で開催されます。愚作ですが鑑賞していただければ幸いです。

2021年（令和3年）11月10日 記

入賞作品：題名【江行】



第8回日展 (2021)

江行

竹本大鶴

(題名)

江行

江行こうこう

(明・吳安國)

江樹浮疑没

江樹浮こうじゅうかんで没ぼつするかと疑うたがう

江雲散復凝

江雲散こううんさんじて復凝またこおる

疎燈明極浦

疎燈そとうきよくほ極浦あきに明らかに

處處有魚罾

處處しよしよぎよそうあ魚罾あ有り

(語意)

船から眺めていると川のほとりの樹木は浮き沈みし、
江上の雲は流れてまたとどまる。遠くの浦にはまばらに
漁火がつき、ところどころに四つ手網が見える。



展示会場（国立新美術館）



第5科（書の会場）



作品と私



第1科（日本画の会場）



第4科（工芸美術の会場）



第2科 (洋画の会場)



第3科 (彫刻の会場)